

広報紙配布を業者委託から行政区配布に見直します

旧町では行政区が行っていた広報紙配布や文書回覧ですが、福智町ではシルバー人材センターに委託して配布しています。町内の全世帯と全事業所に行き渡ることや発行後数日のうちに確実に情報が伝えられることから行っていたものですが、このことについて、住民から多くの意見や批判が寄せられ、また1回約47万円の経費もかかるため、町ではその配布方法の見直しを検討してきました。現在、行財政改革の答申を踏まえ、経費節減を図るために、合併前の方法で配布していただくよう提案しています。今後、各行政区の総会が終了する6月ごろの実施に向けて準備を進めています。住民のみなさんにはご迷惑と負担をおかけしますが、行財政改革の推進のために、ご理解をお願いいたします。

全世帯に行政区への加入をお願いします

町では全世帯のみなさんに行政区への加入を呼びかけ、自治会が設置されていない地区に組織の新設をお願いしています。今後、行政区に未加入の世帯には、町が発行する広報紙や回覧が届かないこともあります。地域と町の活性化のため、協働のまちづくりを進めるためにも、ぜひご協力いただきますよう、お願いいたします。

役場総務課 庶務係 ☎22-0555

そこが気になる。
ここが変わる。
町の情報紙



Public Relations No.16 April 広報ふくち

4月から毎月1回の発行となる「広報ふくち」。行政情報や住民のみなさんの姿など、町の動きをより早く、より多く、より楽しく見ていただけるよう、紙面の充実に取り組んでいます。この機会に、今後の広報の方向性と今までに寄せられたご意見やご質問に対する答えをお知らせします。

フルカラーは「ぜいたく」なのでは？

まず、平成18年度の「広報ふくち」の発行経費を一覧ください。新町の情報量の多さからページ数は増えていますが、旧町合計に比べ、格安で発行していることがお分かりになるかと思いますが、

町名	発行部数	平均仕様	金額	一部単価
合併前	旧赤池町 <small>(約2か月に3回発行)</small>	20ページ <small>(カラ-4、2色 16ページ)</small>	320,000円	88.89円
	旧金田町 <small>(毎月1回発行)</small>	20ページ <small>(カラ-2、2色 18ページ)</small>	318,500円	98.00円
	旧方城町 <small>(2か月に1回発行)</small>	20ページ <small>(カラ-4、1色 16ページ)</small>	409,500円	163.80円
	旧町合計	20ページ	1,048,000円	平均単価 112.09円
現在	福智町	20ページの場合 <small>(フルカラー)</small>	350,000円	31.80円
		36ページ <small>(フルカラー)</small>	589,000円	53.55円

モノクロ「黒」色印刷にすれば、さらに経費は落ちますが、近年は印刷機械がカラー化しているため、従前ほどの差額は生じないような状況です。その費用対効果を想定したとき、カラーの方がより

広報紙にとじ穴を開けた場合の経費は、1号あたりおよそ7万円、18年度実績(15回発行)だと年間約105万円かかります。また、穴の位置が写真にかかったときに、人の体の部分に重なる場合もあるため、レイアウトが大幅に制限されることも理由の一つです。保存する際に何かと不便かと思いますが、みなさんのご理解をお願いいたします。ただし、編集に際しては、今後もみなさんに保存していただけるような広報紙づくりを目指していきます。

タイトル(表題)の英文字が読めない

創刊以来、広報紙の表紙タイトルに「FUKUCHI」と掲げていますが、当初は「何の印刷物か分からない」というご意見をいただきました。この表題は「若年層の広報紙ばなれ」という課題に対応するため、さまざまな印刷物を参考にして考案したものです。創刊後1年が経過し、号を重ねることに定着感も増しているようです。しかし、これが福智町の広報紙だということをさらに認識していただくため、今月号から「広報ふくち」の文字を工夫して、改善を行っています。

また、紙面中に英文字を使用することがありますが、これはアクセントやイメージ効果のために配置しているもので、訳して読む必要はありません。

住民のみなさんに親しまれ、喜んでいただけることを考え、現在のようなフルカラー印刷で発行しているところです。

なお、印刷前までの編集を全て職員が行うことで経費を削減し、できるだけ直近の情報掲載できるようにしています。

紙質が厚くて良すぎるのでは？

18年度(今月号まで)の「広報ふくち」に使用している紙は、以前より厚いものとなっております。これは、紙が厚いから金額が高いわけではなく(薄くても高い紙質もあります)、発注している業者が大量に取り寄せた紙が必然的に価格も安くなることから、現在の紙を使用しています。ただし、印刷業者によって紙の価格は変動しますし、配布の方法も変わることから、平成19年度(来月号から)に使用する紙質は、配布時の負担を軽くするため、薄いものにするよう検討しています。

とじ穴を開けて欲しい

旧町では、広報紙に2か所のとじ穴を開けていましたが「広報ふくち」では開けていません。これは、穴を開ける経費とそのための日数がかかることから、現在のようにしています。

毎月1回の発行に

町では、経費削減のため、隔月(偶数月)の増発を廃止し、平成19年度からは月に1回の発行とします。発行回数は減ることになりますが、情報の量・質ともに低下させないよう、編集していく方針です。

ホームページもリニューアル

また、町のもう一つの情報提供媒体であるホームページも平成19年度中に大幅な改善を行う予定です。内容の充実・更新など、運営面も含めて、町内外のみなさんに、より活用いただけるよう、素早い情報発信と向上を図っていきます。

住民と行政との間を身近な情報でつなぐ広報紙。行財政改革大綱答申にも示されたように、今後「行政の説明責任」や「情報の共有化」を果たす役割がますます求められてきます。「広報ふくち」に寄せられる声が多いということは、それだけみなさんに「読んでいただきたい」ということだと受け止めています。読まれないならば反省もいただくことはできません。今後ともみなさんにとっての一番身近な情報紙を目指して、福智町の姿を綴ってまいります。「広報ふくち」に関する情報やご意見、ご感想をお待ちしています。

役場企画課 広報・広聴係

☎22-0555